



TITLE:

V 広報活動

AUTHOR(S):

CITATION:

V 広報活動. 霊長類研究所年報 1996, 26: 68-68

ISSUE DATE:

1996-11-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/164850>

RIGHT:

V 広 報 活 動

1. 夏期セミナー (第7回)

平成7年7月13日(木)・14日(金)の両日、霊長類研究所会議室において開催した。参加者は北大から宮崎大までの大学、所属は理系が25名、文系が20名で合計45名であった。

両日にわたって各分野と施設における研究内容の紹介と所内見学が、また2日目には総合討論が行われた。プログラムと講師は以下のとおりである。

	司会	高井正成
最近の脳科学の動向		三上章允
霊長類の形態と進化		浜田 稔
チンパンジーの知性と文化		松沢哲郎
ヒトの進化5つの謎		
—類人猿研究からのアプローチ—		山極寿一
ニホンザルの集団遺伝学		川本 芳
実験動物学からのアプローチ		鈴木樹理
霊長類の脳の発生・発達・加齢		林 基治
霊長類の進化とDNA		竹中 修

2. 公開講座 (第11回)

例年どうり「霊長類の進化」というタイトルで、平成7年8月24日(木)・25日(金)の両日にわたって、霊長類研究所会議室において開催した。参加者は65名で、教員、会社員、学生、保母と幅広く、中部、近畿地方からの参加が多かった。プログラムと講師は以下のとおりである。

	総合案内	景山 節
サル		茂原信生
サルという閉鎖空間に棲息するニホンザル群の生態学		森 明雄
霊長類のコミュニケーション		正高信男
サルにおける動物福祉		松林清明
形態・骨学実習		毛利俊雄
心理学実習		友永雅己
サルの野外行動観察実習		森 明雄
遺伝学実習		川本 芳

3. 市民公開日

平成7年10月22日(日)午後、霊長類研究所において開催した。犬山市とその周辺の地区より58名の市民が参加した。プログラムは以下のとおりである。

	司会	友永雅己
13時15分～13時20分		
挨拶		後藤俊二
13時20分～14時		
講演「サルの社会生活」		大沢秀行
14時～15時		
所内見学(サル放飼場等)		

4. 研究所見学者

平成7年		参加者
8月7日	犬山市教育委員会「郷土学習会」	25名
10月27日	京都大学経済学部留学生	30名
12月17日	朝日新聞社・朝日カルチャーセンター	170名
12月20日	「生物科学の日韓共同セミナー'95」	8名
平成8年		
2月8日	京都大学技術職員研修	26名
3月7日	岐阜県高等学校教育研究会 生物担当教員	22名